

第7回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 平成30年7月18日(水) 13:30～14:45

2 場 所 職員会館 304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

秋山委員、岩佐委員、鏡委員、川島委員、小山委員、坂本委員、多田委員
中條委員、西川委員、平井委員、柳委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局(市)

望月産業振興室長、桜田企業政策室長、
商 業 振 興 課：武田課長、由利主査、新田主査、朝倉主事
工業・雇用振興課：加賀谷課長、能代主査、佐藤主事、今井主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中13名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 議事

①部会活動報告について

渡辺部会長より第4回創業促進部会について報告あり。創業支援については、新規事業ではなく既存事業のてこ入れという方向になったこと、今後の課題としては技術を持つ高齢者の創業促進があるが、企業の人手不足など高齢者が引き続き企業に求められるなど、社会ニーズが変わっているなどの議論が交わされたとのこと。

鏡部会長より第4回人材育成・事業承継部会について報告あり。部会ではまず事務局から市事業の説明があり、それに対して意見を出し合い今後の改善につなげる、という形で進められた。離職防止事業では周知チラシの見せ方の工夫、若者人材育成事業ではスケジュールの変更、なでしこ応援事業ではセミナー受講者の保育園への優先入園等の案が上がった。全体的には、各事業をどのように情報発信していくか、という点が議論の中心になったとのこと。

岩佐部会長より第4回販路拡大・需要開拓部会について報告あり。部会では「別冊における関連事業確認と今年度方針」「北海道国際流通機構について」「秋に実施予定の販路拡大セミナー」「商品開発支援」の4点について議論を重ねたとのこと。具体的には、部会で販路拡大に関する新規事業案を上げる方向となったこと、セミナーでは実態に合わせての実施が必要ではないかという意見があり、商品開発では需要の掘り起こしから進めてはどうかという意見が交わされたとのこと。

②北海道国際流通機構について

事務局から、前回審議会の補足説明と新たな市の取り組みについて報告。機構を利用した小口輸出の輸送費は、「輸入元」が負担する仕組みであることを説明。その他、

機構に加入したことで得られる情報を市ホームページに掲載していること、8月に台湾台中市で商品のテストマーケティングを行う権利を得たため参加企業を募集、1社が参加予定であることを報告。以下、質疑応答。

▽委員

テストマーケティングの申込は1社ということだが、もう少し増やせたのではないのでしょうか。

▼事務局

機構より8月の他自治体分を急遽譲り受けた形になります。5月連休前にホームページ・メールマガジン等で呼びかけたところ、同月末までに1社が参加されたというものです。次年度は苦小牧枠を当初から得て、早くから広報に取り組みたいと考えております。

▽委員

テストマーケティングの参加自治体はどのように決まったのでしょうか。

▼事務局

前年度から機構に加入している自治体得られる枠で、市は今年の4月に加入したため当初は与えられておりませんでした。

▽委員

来年度の参加時期は未定でも、今から募集できるのではないのでしょうか。来年になって募集してからでは時間がまた足りなくなりますよ。必要とされている方々へ情報が届かないことも問題と捉えてください。

▼事務局

今年の10月に販路拡大セミナーを予定しており、このことをお伝えする予定です。またセミナー前には特産品業者などを訪問して情報提供を行うなど来年度に向けて早めに動きたいと考えております。

▽会長

テストマーケティングは10自治体ですが、枠は固定でしょうか。増える可能性はありますか。

▼事務局

自治体会員は、当市加入などもあり増加傾向にあります。今後増えていけば割当は抽選や半月などとなる可能性があります。まだ機構からの情報待ちという段階です。

③計画別冊について

●事務局より下記について報告等を行った。

- ・配布した別冊は7月5日まで修正を加えた最新版

- ・ 前回審議会の意見を元に下記2点について修正
 - I.別冊事業No.36～38までの事業概要に、「助成事業例」を追加
 - II.最終ページに、各事業の担当課・連絡先を追加
 - ・ P1～3の各事業名にリンクをつけ、詳細ページへ簡単に移動できるようにした
 - ・ P4～の詳細ページの事業名称に、関連ホームページへのリンクを追加
- 以下、質疑応答

▽会長

ページはスマートフォン対応と考えてよろしいでしょうか。

▼事務局

パソコンでもスマートフォンからでも閲覧可能です。計画別冊表紙にリンクアドレスやQRコードを表示しております。

④計画の産業別対応について

●事務局より下記について報告等を行った。

- ・ 計画を産業別にしてはというご意見に対し、事務局で資料3を作成した
- ・ 市における代表的な産業5つを経済センサスの大分類に基づき掲載
- ・ 中小企業等が別冊のどの事業を利用できるかの目安にして欲しい

▽委員

別冊事業No.19 企業データブックについて、建設業と製造業以外の業種に展開する可能性はありますか。

▼事務局

現時点は2業種を中心に調査作成しており、今後の拡大については今後検討して進めていきたいと考えております。

▽委員

以前は飲食店などがあつたと記憶しております。

▼事務局

データブックは企業間同士で情報共有していただく目的で作成しております。他業種については工業・雇用振興課以外で作成していた経緯があるので、必要に応じ今後検討することになると考えております。

⑤釧路市・帯広市視察結果、先進事例等の報告

●事務局より下記について報告等を行った。

- ・ 5 / 3 1 ~ 6 / 1 の日程で他自治体における中小企業振興の取り組み調査のため、釧路市・帯広市を視察
- ・ 釧路市の取り組み
 - I. K-BIZ の開設
 - 北海道自治体初の BIZ モデル導入
 - II. 釧路応援ファンドについて
 - 自治体主導のクラウドファンディング
 - III. ビズサポくしろ(ポータルサイト)の開設
 - 地元中小企業等への情報発信力を強化
- ・ 帯広市の取り組み
 - I. ものづくり補助金について
 - 中小企業を対象とした補助金。市では道央産業振興財団が同様の取り組みを行っている
- ・ 2 市共通の取り組み
 - I. 地域クラウド交流会の開催
 - 両市とも地元の地域振興を目的に、若手経営者が主導し開催となった

以下、質疑応答

▽委員

クラウドファンディングの実績を教えてください。

▼事務局

事業は H27 年度から実施されており、毎年 2 ~ 3 のファンドを組成しているようです。

▽会長

実績はスライドで示されているショートチーズファンド等の 4 件ということでしょうか。

▼事務局

過去 4 年分の実績はホームページに掲載されておりますが、もう少し件数はあったと記憶しております。

⑥その他

○川島会長より、残り 3 回となった第 3 期審議会において、これまでの活動や第 4 期への申し送り事項を報告書にまとめる必要があるため、次回から審議に入りたいことについて説明。

●事務局より部会会場・次回審議会について下記のとおり説明。

- ・創業促進部会：職員会館3階 304号室
- ・人材育成・事業承継部会：職員会館1階 101号室
- ・販路拡大・需要開拓部会：職員会館1階 102号室

【次回審議会日程】

平成30年10月17日(水) 13:30～

職員会館3階 304号室

(3) 閉会